

The Vision of Yoshimura Kan'a:
The 260th Anniversary of his Birth

世を観る眼

— 生誕260年 —

白酔庵 吉村観阿

知られざる目利き、

見極め、切り拓く

2024年11月27日[水] — 2025年1月19日[日]

〔開館時間〕 午前9時30分—午後5時30分（入館は閉館の30分前まで）

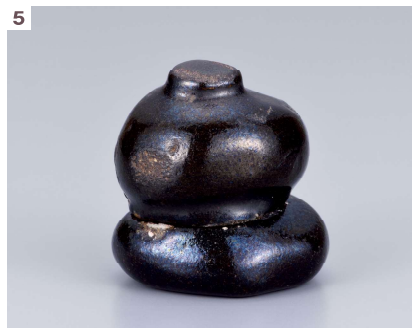
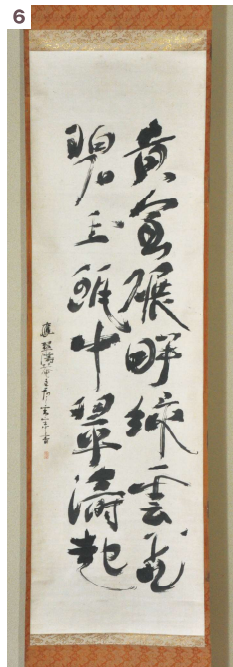
〔休館日〕 月曜日、年末年始（12月28日—1月4日）※ ただし1月13日（月・祝）は開館し、翌14日（火）が休館。

〔会場〕 福岡市美術館 1階 古美術企画展示室

FaN
Fukuoka Art Next



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM



1 高麗雨漏茶碗 朝鮮王朝時代・福岡市美術館蔵 ※本チラシ表面の茶碗／2 桃時絵細素 江戸時代 個人蔵／3 白呉州獅子蓋香炉 明時代 個人蔵／4 松平不昧作茶杓 銘「曲直」 江戸時代 個人蔵／5 本阿弥光悦作 瓢箪香合 江戸時代 北陸大学蔵（後期展示）／6 小堀宗中筆 二行書 江戸時代 個人蔵

吉村観阿（一七六五―一八四八）は、江戸時代後期、茶の湯道具の「目利き」で人生を切り拓いた人物です。

江戸に生まれ、家業の両替商を営んでいましたが34歳で出家、浅草に庵（白醉庵）を結びます。40歳の頃より大名茶人・松平不昧（まつだいら ふみ）と交流するようになると、目利きの才覚を認められて頭角をあらわします。不昧が没してからは新発田藩主・溝口家（しづた）に出入りし、同家の蔵品の鑑定や数寄道具の取り次ぎ（道具を見出して、納めること）で活躍しました。かくして目利きとしての名声を江戸中にとどろかせた観阿は、多くの作品を見出し、その箱に、自ら鑑定したことを記しています（これを箱書きといいます）。後世、観阿の箱書きのある作品は間違いがないという評判が広まって箱書き自体が付加価値を高め、作品の価値を飛躍的に高めています。

本展は観阿の生誕260年の記念として企画するものです。観阿が取り次いだ茶道具や大名家との交流を物語る資料、自作、愛蔵の茶道具、そして江戸における様々な文化人との交流を物語る資料など約60件により、謎多き吉村観阿の目利きとしての足跡を辿ります。

トークイベント

「知られざる“目利き”吉村観阿とは何者か？」

11月30日〔土〕午後2時～3時30分（開場 午後1時30分）
 〔講師〕 宮武慶之氏（同志社大学 京都と茶文化研究センター共同研究員）
 〔聞き手〕 後藤 恒（福岡市美術館学芸員）
 〔会場〕 1階 ミュージアムホール
 〔定員〕 180名 ※聴講無料、事前申込不要、先着順

つぎなみ講座

「吉村観阿展の見どころ紹介」

12月21日〔土〕午後3時～4時（開場 午後2時30分）
 〔講師〕 後藤 恒（福岡市美術館 学芸員）
 〔会場〕 1階 レクチャールーム
 〔定員〕 54名
 ※聴講無料、事前申込不要、先着順



〔主催〕 福岡市美術館 〔企画監修〕 宮武慶之（同志社大学 京都と茶文化研究センター共同研究員）

〔観覧料〕 一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金。※以下の証明書等ご提示にて観覧無料。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミイロID」（以上は介護者1名を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの（健康保険証、運転免許証等）／wa+club（わたすクラブ）会員証

地下鉄 〔空港線〕大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、徒歩10分
 〔七隈線〕六本松駅下車、徒歩10分
 西鉄バス 〔系統番号13・140〕で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分
 〔系統番号6・7・12・113・114・200～206・208〕で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分
 〔系統番号6・1〕で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分
 福岡都市高速「西公園ランプ」から5分／
 福岡市美術館専用駐車場（有料：1時間200円）
 利用時間：午前9時～午後9時（開館日のみ）
 ※週末、祝日等は大変混み合います。公共の交通機関をご利用ください。

福岡市美術館
 FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園1-6
 TEL:092-714-6051 / FAX:092-714-6071